

# 福島イノベーション・コースト構想

## 実現に向けた重点的な取り組み

### 画面遷移

#### 階層1

**選択画面 (静止画)**  
4つの項目から任意に選択

#### 階層2 階層1へ【戻る】ボタンを配置

No.1  
**「イノベ構想とは」 (動画)**  
動画が再生される

No.2  
**「重点プロジェクト」 (静止画)**  
6つの項目から任意に選択

No.3  
**「構想実現に向けて」 (動画)**  
動画が再生される

No.4  
**「各施設へのアクセス」 (静止画)**  
5つの項目から任意に選択

#### 階層3 階層1と2へ【戻る】ボタンを配置

No.2-1  
**「廃炉研究」 (動画)**

No.2-2  
**「ロボット」 (動画)**

No.2-3  
**「エネルギー」 (動画)**

No.2-4  
**「農林水産」 (動画)**

No.2-5  
**「航空宇宙」 (動画)**

No.2-6  
**「医療」 (動画)**

No.4-1~n  
**「アクセス情報」 (静止画)**  
複数項目から任意に選択

コメント

大項目:A6 復興への挑戦

小項目:A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取組

アイテム:解説映像

工種:映像コンテンツ

【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

## ■ 各映像構成

※各イメージは仮のものです。制作時に精査してまいります。  
また、内容については、構想の進捗状況により変わる可能性があります。

### No.1 福島イノベーション・コースト構想とは

【イメージ】



浜通り地域の被害映像または静止画



重点プロジェクト映像マルチダイジェスト



タイトルIN

【ナレーション】

2011年、震災と原子力災害により、県内でも特に大きな被害を受けた浜通り地域。

この地域を軸に、新たな産業、新たな活力を創出し、未来へ向けた復興を目指す。

それが、福島イノベーション・コースト構想です。

【イメージ】



福島イノベーション・コースト構想推進会議の様子



各カテゴリアイコン



廃炉研究について



ロボットについて

【ナレーション】

福島イノベーション・コースト構想は、2014年に研究会が立ち上がり、2017年の福島復興再生特別措置法の改正により、国家プロジェクトとしてスタート。

国内の産学官が連携し、さまざまな分野で研究開発拠点を整備し、先端産業の集積に取り組んでいます。

復興の前提となる原発の廃炉研究。

様々な分野での活躍が期待されるロボットの開発・実証実験。

コメント

大項目:A6 復興への挑戦

小項目:A6-3 福島イノベーションコースト構想の取組

アイテム:解説映像

工種:映像コンテンツ

【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

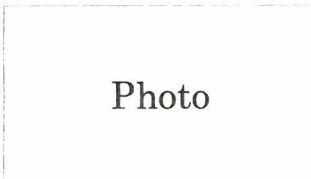
【イメージ】



エネルギーについて



農林水産について



人材育成の様子



光を放つ浜通り

【ナレーション】

未来へ向けた再生可能エネルギーの創出へ。

先端技術を取り入れた、先進的な農林水産業。

福島はこれらの取り組みを新たな起点とし、構想を担う高い志を持った人材を育てています。

そして、世界に向けてこれからも浜通りの「今」、様々な動きを発信し続けていきます。

【イメージ】



集う、創る、叫べる、ふくしまで。

【ナレーション】

新しい浜通りへ。  
福島イノベーション・コースト構想により、その歩みは一歩ずつ着実に進んでいます。

福島イノベーション・コースト構想とは

TOTAL TIME (2分20秒)

コメント



【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

## No.2-1 廃炉研究について

【イメージ】



現在の福島第一原子力発電所の様子



施設外観および内観

Photo

廃炉創造ロボコンの様子



施設外観および内観

【ナレーション】

世界からも注目を集める、浜通りの廃炉研究。

楡葉遠隔技術開発センターでは、VRやロボットシミュレーター技術を用いて、遠隔操作機器の開発実証を行っています。

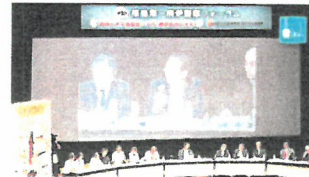
また、ここでは、全国の高専や海外の大学が参加して、廃炉を担うロボットの性能を競う「廃炉創造ロボコン」も開催されています。

福島第一原子力発電所のすぐ傍に整備された、廃炉国際共同研究センターでは、国内外の機関と連携した研究開発を、

【イメージ】



施設外観および内観



各カテゴリアイコン

Photo

廃炉研究に携わる人々

【ナレーション】

大熊分析・研究センターでは、放射性廃棄物の確実な処理・処分を行うための分析を進めています。

原子力損害賠償・廃炉等支援機構では、廃炉に関する情報を分かりやすく提供。地域住民の皆様の声を聴き、国内外の専門家が廃炉の最新の進捗や技術的成果を広く共有するため「福島第一廃炉国際フォーラム」を開催しています。

このように、復興に不可欠な廃炉の取り組みに、全国の英知が結集。福島第一原子力発電所の廃炉は着実に前進しています。

### 廃炉研究について TOTAL TIME (2分)

コメント



【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「インベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

## No.2-2 ロボットについて

### 【イメージ】



評価会で披露されるロボット



敷地全体の俯瞰



それぞれのエリアでのロボットテストの様子



施設外観および内観

### 【ナレーション】

復興と創生のために、たくさんのロボットが活躍しています。

広大な敷地が広がる、福島ロボットテストフィールド。

ここでは、国内外から研究者たちが集まり、物流やインフラの点検、大規模災害に対応する陸海空のフィールドロボットの検証実験を行っています。

安全装置と試験飛行区域を併設した“世界初”のドローン試験施設をはじめ、

### 【イメージ】



インフラの損傷を点検するロボットなど

水中を調査するロボット



各カテゴリアイコン



ロボット開発に携わる人々

### 【ナレーション】

様々な災害現場を再現したフィールドで、最先端技術が搭載されたロボットが次々と誕生しています。

また、福島県内の企業も、“Made in 福島”のロボットの開発に向けて、挑戦を続けています。

福島は、世界に類を見ないロボットの一大開発拠点を整備し、ロボット産業の集積を推進していきます。

## ロボットについて TOTAL TIME (2分)

コメント

【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

## No.2-3 エネルギーについて

【イメージ】



万葉の里風力発電所



大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所



福島水素エネルギー研究フィールド



いわき鹿島水素ステーション

【ナレーション】

再生可能エネルギー先駆けの地を目指  
す。

福島では福島イノベーション・コース  
ト構想が推進される浜通りを中心に、  
各地で再生可能エネルギーの導入が進  
んでいます。

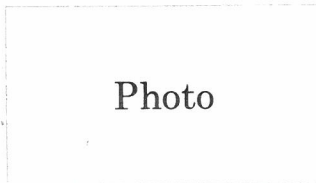
また、水素を「作り」、「貯め」、  
「使う」ことによって、天候次第で出  
力が変動する再生可能エネルギーを有  
効に活用しようとする大規模な実証プ  
ロジェクトも行われています。

福島水素エネルギー研究フィールドで  
作られるこのクリーンな水素や、実証  
による成果が様々な場所で活用され、  
水素社会のモデル創出につながってい  
くことが期待されます。

【イメージ】



水素ステーションなど



エネルギーに携わる人々

【ナレーション】

このほか、電気自動車用バッテリーの  
再製品化やスマートコミュニティの構  
築など、さまざまな取り組みが行われ  
ています。

福島は、未来の新エネルギー社会を先  
取りすべく、さらなる取り組みを進め  
ていきます。

### エネルギーについて TOTAL TIME (2分)

コメント

【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

## No.2-4 農林水産について

【イメージ】



各地の大規模農業の様子



ロボットによる農業の様子



各地の大規模農業の様子



実証の様子

【ナレーション】

浜通り地域にも、日本の農業の課題を補うスマート農業が普及してきました。

自動走行を行うことができるロボットトラクタや、津波で被害を受けた海岸防災林を再生するための苗木植栽ロボットなど、

ロボット技術などの先端技術を取り入れた先進的な農林水産業を全国に先駆けて実践しています。

また、花き栽培は、風評の影響を受けにくい品目として、農業者の関心が高まってきています。葛尾村では、関係企業と連携し、胡蝶蘭栽培を行う経営体が新たに設立されました。

【イメージ】



施設外観および内観 ※写真提供願います。



福島の農産物など

【ナレーション】

水産業においても、水産海洋研究センターで、水産物の放射性物質に関する研究も進んでおり、

おいしい福島は、さらに発展していきます。

農林水産について  
TOTAL TIME (2分)

コメント



大項目:A6 復興への挑戦

小項目:A6-3 福島イノベーションコースト構想の取組

アイテム:解説映像

工種:映像コンテンツ

【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

### No.3 構想実現に向けて

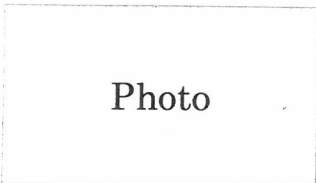
【イメージ】



棚塩 産業団地 (タイムラプス素材等)

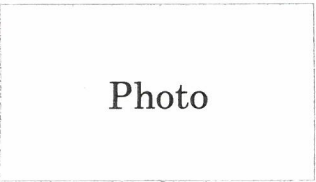


いわき四倉中核工業団地 (タイムラプス素材等)



Photo

交流会の様子



Photo

地元企業から生まれた新製品など

【ナレーション】

新たな産業集積の実現と既存産業の復興再生に向けて、浜通りには全国から多くの企業が集まっています。

福島イノベーション・コースト構想では、浜通りの産業団地の整備や企業立地の促進を図るとともに、

進出企業等と地元企業の交流、ビジネスマッチングを促進しています。

また、新たな技術・製品の研究・開発に向けてチャレンジする地元企業に、開発費用を補填するなど、バックアップも行っています。

【イメージ】



Photo

ふたば未来学園卒業式の様子など



Photo

教育現場の様子



Photo

平工業高校の  
取り組みの様子  
など



東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設  
外観

【ナレーション】

福島イノベーション・コースト構想では、地域振興の核となる人材を育成し、教育環境を整えることも重要な柱のひとつ。

県立ふたば未来学園は、「変革者たれ」をスローガンに、解決困難な課題に向き合うイノベーターを育成する、まったく新しい教育方針を掲げています。

その他にも、産学官と地域が連携したここでしかできない教育への取り組みが広がっており、

子どもたちの未来を見つめる眼差しは、いっそう強いものとなっています。

そしてこの、東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設も福島イノベーション・コースト構想により誕生した拠点のひとつです。

コメント

大項目:A6 復興への挑戦

小項目:A6-3 福島イノベーションコースト構想の取組

アイテム:解説映像

工種:映像コンテンツ

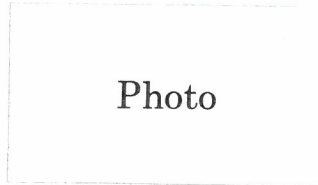
【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

【イメージ】



Jヴィレッジなど



Pepperを活用した情報発信の様子



浜通りの青空

【ナレーション】

当館をはじめとして、福島では、浜通り地域等の交流人口の拡大や地域と連携した新たな魅力創造に取り組んでいます。

また、構想の認知度を向上させ、参画を促進するためのさまざまな情報発信を行っています。

福島イノベーション・コースト構想は、これからも未来を見据えたチャレンジを続けていきます。

構想実現に向けて

TOTAL TIME (2分30秒)

コメント

大項目:A6 復興への挑戦

小項目:A6-3 福島イノベーションコースト構想の取組

アイテム:解説映像

工種:映像コンテンツ

【コンテンツ仕様】 表示機器:タッチパネルモニター 映像尺:約2分×6本 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

## No.4 各施設へのアクセス

【イメージ】 選択項目を各カテゴリとする

「選択」ボタン



廃炉、ロボット、エネルギー、農林水産、その他（情報発信拠点）の各カテゴリから任意に選択。

次に、「決定」ボタンで次階層へ移動。

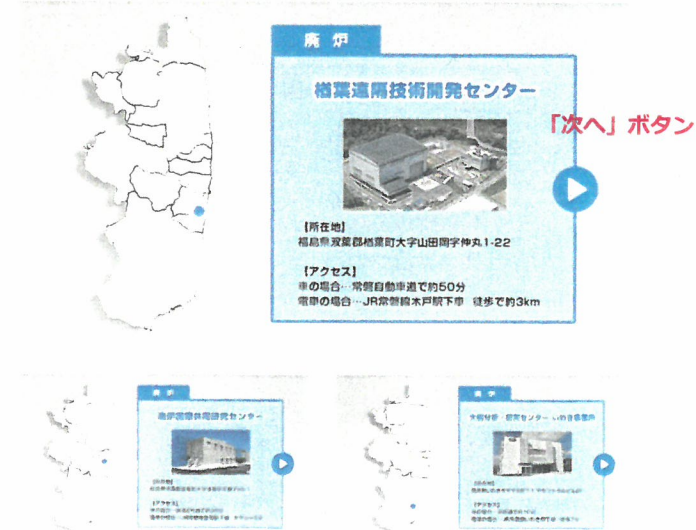
デフォルトとして「廃炉」が選択された状態に。

他の項目にタッチすると、左の表示エリアもそれぞれ切り替わる。

※項目については今後の検討

## No.4-1～n アクセス情報

【イメージ】 「次へ」ボタンで地図上のポイントと拠点の情報が切り替わる



15市町村の地図上のポイントとともに、アドレスおよびアクセス情報が「次へ」ボタンで切り替わって表示される。

コメント



大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-5 みらいの街	アイテム: ★みんなで作るみらいの街	工種: デジタルコンテンツ
----------------	-----------------	--------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター2台(テーブル、壁面)、制御用パソコン、タッチパネル・PC6台

展示のねらい 来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に創造してもらいながら、福島イノベーション・コースト構想の取り組みについても知る機会とする。


来館者が思う、「こうなったらいいな」という福島のみらいの街の姿を、デジタルメディアを使って、みんなで作り上げていきます。同時に6人体験ができ、また、一人参加も可能です。みらいの街づくりは時間内でいくつかのアイテム(家、電車、発電所、田畑、空港等)をタッチパネルで選択していきます。アイテムはタッチパネルから飛び出すようにして、テーブル上に投影された地形に反映され、様々な街が出現します。

**みんなで作るみらいの街**

10分を1ゲームとして、同時に6人参加します。もし来館者が誰もいない場合は自動的に理想的な街がゆっくりと作られていきます。時間内で住んでみたい街やこうなったらいいという街を作り上げます。途中参加も可能とします。来館者は参加するにあたり、年代、性別や質問に答えると、まちづくりに必要なアイテムが現れ、時間内にアイテムをいくつか選択するとテーブル上のスクリーンに反映され街が出来上がってきます。バランスの悪い街を形成していくと(住宅ばかり、鉄道、道路が多い、発電所が多い等)メッセージが現れ、バランスが取れた街へのアドバイスが現れます。みらいの街は、福島イノベーション・コースト構想で研究開発を行っている技術も紹介していきます。

コンテンツの流れ

①



みらいの街のベーステーブルに投影される地形は3タイプあります。ゲーム毎に変わります。

- 1 会津地方を模した山、湖、平野のある街
- 2 中通りを模したインフラや人口が多い街
- 3 浜通りを模した海を中心にした街

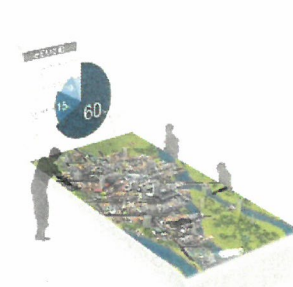
※画像はイメージです。

地形に即した街を形成していく流れになります。

(完成例)

- ① 農産業、バイオマスエネルギーを活用した街
- ② インフラの整備が進んでおり、人々の暮らしを良くする先進技術が発達した街
- ③ 風力発電で他の地方に電気を送ったり、漁業が活発な街

②



みらいの街の演出はテーブル上のスクリーンと壁にあるスクリーンによる2面構成です。テーブル上には6台のタッチスクリーンが配置されています。

※画像はイメージです。

③

来館者はタッチパネルの質問に答えていきます。


年齢を選ぶ

性別

あなたが理想とする未来は?

体験者の考え方をデータベースにすることも可能です。

質問を終了すると街に必要なアイテムが現れます



来館者は街に反映したいアイテムを選択します。

※画像はイメージです。

コメント

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-5  미래の街	アイテム: ★みんなで作る 미래の街	工種: デジタルコンテンツ
----------------	-----------------	--------------------	---------------


【コンテンツ仕様】 プロジェクター2台(テーブル、壁面)、制御用パソコン、タッチパネル・PC6台

展示のねらい 来館者が「住んでみたい」と想い描く未来の街と一緒に創造してもらいながら、福島イノベーション・コースト構想の取り組みについても知る機会とする。


コメント

④

来館者が風力発電のアイテムを選ぶと



選択された風力発電は、タブレットから飛び出して、街の中での役割を説明して、街の中に配置されます。



※画像はイメージです。

⑤

ある程度街が形成されると、住宅の部分や田畑、発電所のアップが吹き出しのように表示されます。



壁面では街のアップに沿って、福島イノベーション・コースト構想の技術が紹介されます。



ロボットによる植栽の自動化やロボットトラクタの可動イメージ



医療・介護施設の充実  
ロボットを利用した介護風景



学校ではイノベーションの人材育成風景・大学への連携



各家庭ではスマートコミュニティが構築される様子

※画像はイメージです。

⑥

10分がすぎると街の完成です。



※画像はイメージです。

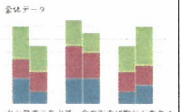
⑦

壁面では街のデータを表示します。人口、エネルギー、食料の生産性など体験者はデータを見て、もっと理想的な街づくりを考えます。

個別データ

- 一軒建て
- マンション
- 公園
- 学校
- 商業施設
- 交通機関

全体データ



グラフ表示などで、今の街の状態と今のアイデアにしているのかデータ表示される。

街のデータは蓄積されます。何月何日何分の過去データを呼び出せます

※画像はイメージです。

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-5  미래の街	アイテム: ★みんなで作る 미래の街	工種: デジタルコンテンツ
----------------	-----------------	--------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター2台(テーブル、壁面)、制御用パソコン、タッチパネル・PC6台

展示のねらい 来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に創造してもらいながら、福島イノベーション・コースト構想の取り組みについても知る機会とする。

## 【アイテムの演出例】


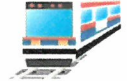

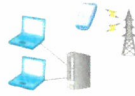





①来館者は以下のような様々なアイテムを自由に配置することができます。

コメント

エネルギー	住居や施設	農林水産業
 水力発電  太陽光発電  風力発電  地熱発電  変電所	 住宅(戸建)  住宅(集合住宅)  店(個人商店)  店(大型店舗)  工場  公園  学校  病院  図書館・博物館  消防署  郵便局  市役所・町村役場  警察署  駅  空港  港	 農業  農業  農業  林業・畜産業  畜産業  畜産業  畜産業  漁業・養殖・水産加工  漁業・養殖・水産加工

②配置したアイテム同士は公共インフラで自動的に繋がっていき、街が出来上がっていきます。(ハード面の発展)

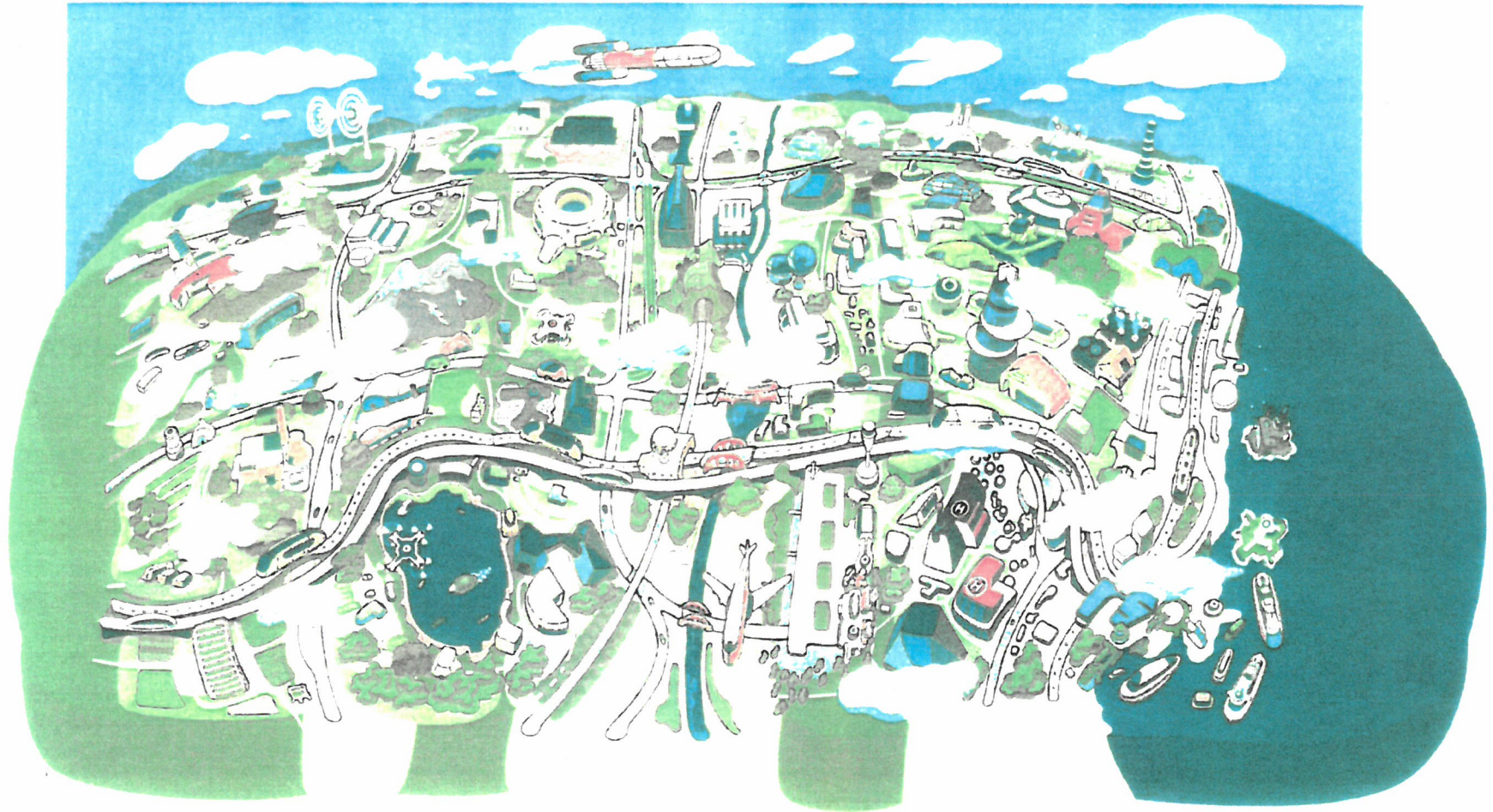
### 公共インフラや科学技術

 高速道路	 鉄道	 上下水道	 通信網	 送電網	 橋	 ドローンによる輸送	 ロボットによる介護	 燃料電池と自動運転車両
--	--	--	---	---	---	---	---	---

※アイテム内容は仮です。デザインなどは未来の街を意識したのになります。



未来の街 イメージイラスト









# 各パーツモデリング

太陽光発電



風力発電



バイオマス発電



水力発電



火力発電



工場



宇宙開発



郊外型ショッピングセンター



ショッピングビル



観光・公園



警察



消防署



郵便局



博物館



図書館



病院



田



畑



マンション

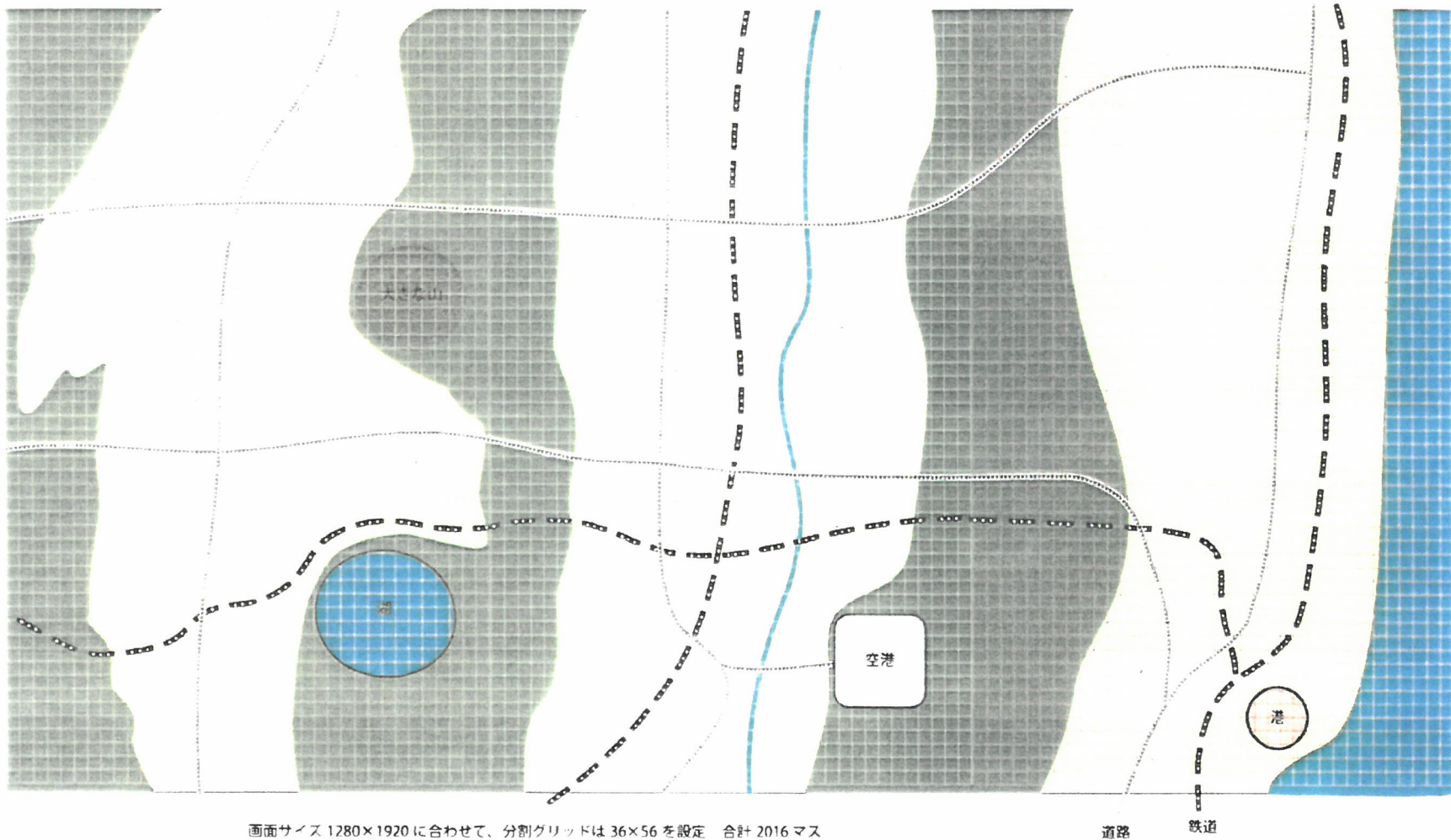




会津地方をイメージしたもの

中通地方をイメージしたもの

浜通地方をイメージしたもの



画面サイズ 1280×1920 に合わせて、分割グリッドは 36×56 を設定 合計 2016 マス  
プレイヤーが 5 秒に 1 回建物を配置したとしても 7 分間で 84 マス、6 名でも 504 マスです  
建造できない山岳地帯、道路、線路、空港などのエリアを外したらちょうど良いくらいかなと予想しています  
この分割グリッド数はゲームバランスを見てから、粗くするなど検討する考えです



2 パネルによる発信

分野	対象事業者	市町村	取組事例(120字程度)	
重点分野	廃炉関連	株式会社エイブル	広野町	原子力発電所の廃炉に向けて、遠隔操作が可能なポンプ交換用ロボットや汚染水処理ロボット等の開発を進めており、放射線量が高い排気筒周辺においてロボットを使い地上から遠隔操作で排気筒の解体を行っています。
	ロボット・ドローン	株式会社テララボ	南相馬市	衛星通信を活用した長距離無人航空機による大規模な災害発生時における情報共有システムの実用化に向けた研究を行っています。 2019年9月に南相馬市にある「福島ロボットテストフィールド」に入居しました。
	ロボット・ドローン	イームズロボティクス株式会社	南相馬市	本社は福島市にあり、南相馬市に浜通り開発センターを設置する会社です。ドローンを使い、獣害対策の実証では、センサーがイノシシを感知すると自動で追尾して追い払い、元の場所に戻る無人での飛行試験に成功しました。
	ロボット・ドローン	有限会社 ワインディング福島	南相馬市	産業用モータ部品製造・ロボット用モータの開発をする会社で、インフラや産業界に欠かせない製品を高品質に提供しています。2015年からは南相馬市原町区に工場を新設し、新たにフィールドロボット分野への挑戦をしています。
	ロボット・ドローン	株式会社 タカワ精密	南相馬市	産業用機械の設計・製造を行う会社であり、設計から製造、設置までの一環サポートを行っています。福島工業高等専門学校と県内企業と連携して廃炉作業用水中ロボットの開発を行っており、産学官連携にも積極的に取り組んでいます。
	エネルギー・環境・リサイクル	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	浪江町	太陽光発電の電力を水素に変え、有効活用する大規模な実証が浪江町で行われています。現在、ここで作られた水素を2020東京オリンピック・パラリンピックの際に活用することも検討されています。
	エネルギー・環境・リサイクル	新地スマートエナジー株式会社	新地町	石油資源開発株式会社が2018年3月に操業開始した相馬LNG基地の天然ガスを活用して、新地駅周辺の新たなまちづくりと一体的に熱電併給等の事業を展開します。
	エネルギー・環境・リサイクル	フォーアールエナジー株式会社	浪江町	電気自動車用のリチウムイオンバッテリーのリサイクル事業を行っています。全国から回収した車載用バッテリーを異なる用途に応じて再製品化するという新たなエネルギービジネスを展開しています。
	エネルギー・環境・リサイクル	株式会社菊池製作所	川内村	川内工場では、スマートフォン等の携帯用電子機器の筐体等の精密金属製品を従来の切削加工とは全く異なる、エネルギー消費量1/100以下、成型時間1/60とする革新的な低環境負荷で量産可能なホットチャンバー精密鋳造技術を開発しています。
	エネルギー・環境・リサイクル	いわきバッテリーバレー推進機構	いわき市	次世代産業の要であるリチウムイオン電池などの、蓄電池をキーにした様々な取組を支援・実行し、いわき市を中心とした周辺地域が蓄電池関連産業の重要拠点として認知・集積されることを目指しています。
農林水産業	紅梅夢ファーム	南相馬市	南相馬市小高区にある(株)紅梅夢ファームでは自動運転による耕うんや代掻きなどの作業ができるロボットトラクターを導入しています。他にも高性能田植機や収量コンバイン等の先端技術を導入し、コメの生産コストの低減と安定した収益の両立を目指す取組を行っています。	
農林水産業	かつらお胡蝶合同会社	葛尾村	葛尾村では、関係企業と連携し、2018年1月に胡蝶蘭栽培を行う経営体が新たに誕生しました。復興への希望の思いを込めて、「hopewhite(ホープホワイト)」と名付けられた胡蝶蘭は、首都圏の市場などにも出荷され、品質が高く評価されています。	



2 パネルによる発信

分野	対象事業者	市町村	取組事例(120字程度)
農林水産業	〇〇〇〇〇(畜産農家)	飯館村	飯館村の〇〇〇〇は、雌牛の首に巻き付けたセンサーやカメラ等で、その行動から発情期を察知して、人工授精のタイミングを確認したり出産のタイミングの監視などを行っています。また、牛舎内に設置したカメラで牛の行動を把握し、パソコンやタブレットで一頭一頭の情報を管理しています。
農林水産業	しろはとファーム	檜葉町	檜葉町でさつまいも栽培に年々規模を拡大しながら取り組んでいます。2020年は約50haに拡大する予定です。町では、さつまいもの腐敗防止処理や長期貯蔵の機能を有する施設整備を予定しており畑作物の大規模営農が期待されます。
農林水産業	ネクサスファームおおくま	大熊町	環境制御技術やGAP(農業生産工程管理)の導入による安全で安心して食べて頂けるイチゴを栽培・販売する会社です。「とちおとめ」や「ふくはるか」、「やよいひめ」、「すずあかね」など、いろいろな個性と特徴を持ついちごを周年栽培しています。
農林水産業	株式会社芳賀沼制作、有限会社たむら農建、合同会社良品店	田村市	木材をふんだんに使用した木造建築物の新しい構法であるパネルログ構法を研究開発しています。また、加工機械も新たに開発し、効率的で高品質な生産ラインの確立を目指しているほか、林業者をはじめ関連会社をつなぐネットワークの構築も行っています。

2 パネルによる発信

分野	対象事業者	市町村	取組事例(120字程度)	
医療関連	ミツフジ株式会社	川俣町	銀メッキを施した導電性繊維の素材開発や、その繊維を使用したスマートウェアの研究開発・製造・販売を行うミツフジは、京都に本社を置き、川俣町に進出した会社です。「健康モニタリングサービス」の開発を進め、安全・安心を高める新しい街づくりモデルの取組として福島から世界へ発信することを目指しています。	
医療関連	SiC応用技研株式会社	楢葉町	SiC(シリコンカーバイド)半導体を使った回路技術を基に、がん治療や省エネ、安全な社会の実現など世界中の課題を先進的な技術により解決していき、かつ地域経済への貢献により復興に寄与できる企業を目指しています。SiCはSi(シリコン)とC(炭素)の化合物であり、次世代パワーデバイス用材料として期待されています。	
航空・宇宙	株式会社IHI	相馬市	IHIは総合重工業メーカーとして、資源・エネルギー、社会インフラ、産業機械、航空・宇宙の4つの事業分野を中心に事業を展開する会社で、相馬工場では、主にジェットエンジンのタービン翼などの各種部品を製造しており、航空宇宙産業のものづくりを支えています。	
実現に向けた取組	交流人口拡大	あすびと福島	地元の高校生たちとともに福島イノベーション・コースト構想の理解促進に取り組んでいます。高校生たちがプログラミングしたpepperを活用して、あすびと福島が地域の子どもたちに福島イノベーション・コースト構想をわかりやすく発信しています。	
	交流人口拡大	福島イノベ機構	企業や団体の方のニーズに応じて、イノベ地域の視察や体験学習等をコーディネートするオーダーメイドツアーを展開しています。	
	教育・人材育成	会津大学	ロボット産業の育成に力を入れている南相馬市と連携し、ロボットに関連するICT技術を持った人材を育成するとともに、2020年に開催されるワールドロボットサミット(WRS)に向けて、南相馬WRSチームによる浜通りの産学連携・ロボット技術共有・実習の自主的推進の体制づくりを支援しています。	
	教育・人材育成	早稲田大学	広野町と連携し、地域社会が抱える課題の解決を通じて地域に貢献することを目指しています。多世代かつ多様なアクターの参画による「ふくしま学(楽)会」という知識創造の場を形成し、福島復興の具体的な提案づくりから実践まで行う体制を構築する社会イノベーションの創造に取り組んでいます。	
	教育・人材育成	慶應義塾大学	田村市と連携し、市内にある船引高校やドローンコンソーシアムたむらの活動を通じ、ドローン人材育成と産業振興に貢献しており、この人材育成から始まる産業振興スキームを「たむらモデル」と名付け、その高度化と普及に向け取り組んでいます。	
	教育・人材育成	福島県教育庁義務教育課	県内7地区全て	震災後、児童生徒が、放射線に関する科学的な知識を身につけ、被曝から身を守るためには、どのような授業をすれば良いかを模索してきました。指導資料集を作成し、実践協力校の協力のもと、福島県独自の放射線教育を確立しました。現在は、教科横断的な視点から、各教科と関連を図りながら、持続可能な放射線教育に向けて取り組んでいます。
	教育・人材育成	磐城高校、相馬高校、原町高校、いわき海星高校、磐城農業高校、相馬農業高校、平工業高校、勿来工業高校、川俣高校、ふたば未来学園高校、小高産業技術高校	浜通り地域等	浜通り地域等の県立高等学校11校において「トップリーダーの育成」、「工業人材の育成」、「農水産業人材の育成」等の各分野に分かれ、地域企業及び大学等の研究機関と連携した実践的な教育プログラムを実施しています。
	教育・人材育成	福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会	浪江町、葛尾村、双葉町、大熊町、富岡町、川内村、楢葉町、広野町	子どもたちの”自ら未来を切り拓く力”を育むことをねらいとし、地域を題材にした探究的な学習「ふるさと創造学」、地域や多様な人々との協働等、8町村が様々な取組を通して、町村や世代の垣根をこえてつながり、双葉郡独自の魅力的な教育を進めています。